

なるから、厳に慎まなければならない。大切なのは、責任感のある、つまり人文的・社会的傾向に根ざす技術開発を推進する運動である。われわれは、技術刷新が道徳的、社会的、文化的、心理学的環境に対して長期間に及ぼす影響を考慮に入れて行動するような青年を育てなければならない。

およそ今日の課題の中で、科学技術ほどわれわれに深い影響を及ぼすものはない。われわれは経済面または技術面での目先の利益によって技術面での決定を勝手に下すことのないよう、よく注意していなければならない。技術は、軍事的目的のために否応なしに進歩せざるを得ない場合が多かった。しかし、人類の多くはいまだ人間らしい生活を営むことを妨げられているのである。この問題を幾分なりとも解決しなければならないという深い責任感を、工学部の学生たちにできるだけ植えつける努力を、われわれは惜しんではならない。

*上智大学学長（政治学）